

2005 年 9 月 30 日

設計・製造支援アプリケーションのためのプラットフォームの研究開発

MZ Platform

Release Note = Version: 1.3 =

連絡先
独立行政法人 産業技術総合研究所
MZプラットフォーム研究会
E メールアドレス : pf-support@m.aist.go.jp

リリース		内容	付属資料
Ver.1.0	2004/06/30	初回配布	<ul style="list-style-type: none"> ・ Component 開発ガイド Rev1.0 ・ Application 開発ガイド Rev1.0 ・ 工程管理システムマニュアル Rev1.0 ・ サンプルアプリケーションマニュアル Rev1.0 ・ インストールガイド ・ チュートリアル
Ver.1.1	2004/12/08	機能改善 <ul style="list-style-type: none"> ・ コンポーネント機能改善 ・ 複合コンポーネント改善 ・ 新規コンポーネント追加 ・ AP 構築操作性向上 ・ 帳票出力機能改善 ・ バーコード出力機能追加 バグ FIX	<ul style="list-style-type: none"> ・ コンポーネント開発ガイド Rev1.1 ・ アプリケーション開発ガイド Rev1.1 ・ 工程管理システムマニュアル Rev1.0 ・ サンプルアプリケーションマニュアル Rev1.1 ・ インストールガイド ・ チュートリアル
Ver.1.2	2005/04/01	機能改善 <ul style="list-style-type: none"> ・ コンポーネント機能改善 ・ コメント機能追加 ・ マルチウィンドウ化 ・ コピー機能追加 ・ メニュー階層変更 ・ 新規コンポーネント追加 ・ AP 構築操作性向上 ・ GUI 属性設定改善 ・ データ連携簡素版追加 バグ FIX	コンポーネント開発ガイド Rev1.2 アプリケーションビルダー操作説明書 Rev1.2 (アプリケーション開発ガイドより改題) <ul style="list-style-type: none"> ・ 工程管理システムマニュアル Rev1.2 ・ 詳細設定説明書 ・ コンポーネントリファレンス ・ FAQ ・ インストールガイド ・ チュートリアル ・ サンプル集
Ver.1.3	2005/09/30	機能改善 <ul style="list-style-type: none"> ・ 画面編集操作性改善 ・ パスワードロック機能追加 ・ デバッグ機能追加 ・ GUI コンポーネント改修 ・ AP ライセンス機能 バグ FIX	コンポーネント開発ガイド Rev1.3 アプリケーションビルダー操作説明書 Rev1.3 <ul style="list-style-type: none"> ・ 工程管理システムマニュアル Rev1.3 ・ 詳細設定説明書 ・ コンポーネントリファレンス ・ FAQ ・ インストールガイド ・ チュートリアル ・ サンプル集 ・ デバッグ操作説明書

機能改善

プラットフォーム基幹

1)画面編集

画面編集画面左に表示されるツリー上において、以下の操作を可能にしました。

- ・ ツリーノードのドラッグによる移動
- ・ マウскарソル位置へのアイテム追加・挿入

2)パスワードロック機能の追加

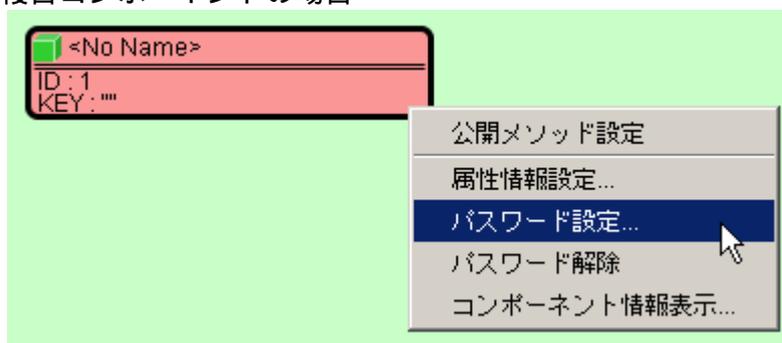
プラットフォーム上で作成したアプリケーション、及び複合コンポーネントに対するパスワードロック機能を実装しました。

パスワードの設定・解除は、ビルダーの表示階層のトップコンポーネントを右クリックして表示されるポップアップメニューから行います。

・アプリケーションの場合



・複合コンポーネントの場合



ロックされたアプリケーション、及び複合コンポーネントに対して下記の対象操作を行うと、入力ダイアログにてパスワードが請求されます。

[パスワードロック対象]

- ・ ビルダー上でのアプリケーションのロード、挿入
- ・ ビルダー上での複合コンポーネントのロード、挿入
- ・ ビルダー上での表示階層変更（複合コンポーネントの編集）

[パスワードロック対象外]

- ・ ロダー上でのアプリケーションのロード
- ・ ビルダー上での複合コンポーネントの追加

ロックされたアプリケーション、及び複合コンポーネントはXMLに出力できません。また、ロックされたアプリケーション、及び複合コンポーネントは、パスワードロック機能を備えていない旧バージョンのプラットフォームではロードすることができません。

また、ロックされた複合コンポーネントを含むアプリケーションにおいて、階層選択画面を表示させた場合には、ロックされた複合コンポーネントより下の構造は表示されません。

3) デバッグ機能

ビルダー上で作成したアプリケーションをデバッグする機能を追加しました。デバッグ機能については、「デバッグ操作説明書.pdf」に詳細があります。

4) アプリケーションライセンス管理機能

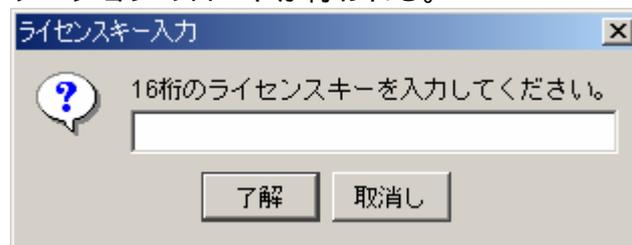
アプリケーションに対するライセンス設定の概念を新たに付加し、以下の機能においてライセンス管理機能を提供します。

アプリケーションビルダーによるロード

ライセンス設定されたアプリケーションのロード時には、操作条件によっていかのような処理が行われます。

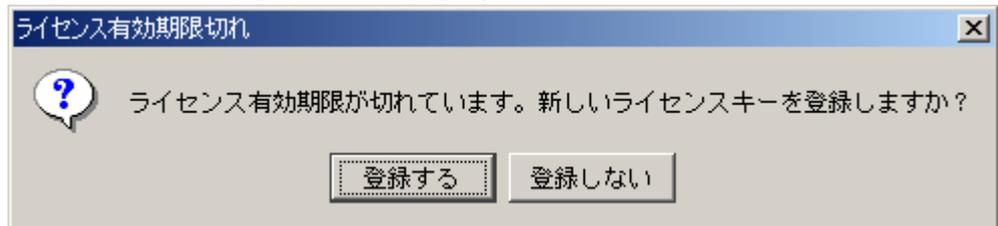
[初回ロード時]

ライセンスキー入力画面が表示され、正しいキーが入力された場合のみ、アプリケーションのロードが行われる。



[2回目以降のロード時]

ライセンスの有効期限がチェックされ、期限切れの場合はエラーメッセージを表示し、新たなキー入力を促す。



アプリケーションビルダーによる挿入

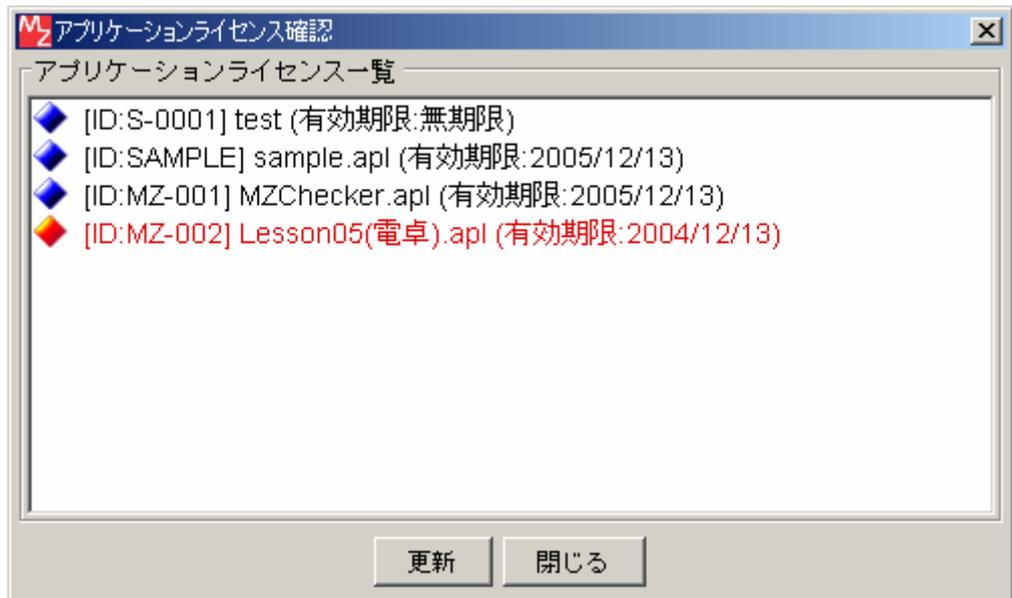
ライセンス設定されたアプリケーションの挿入は不可とする。

アプリケーションローダーによる実行

ライセンス設定されたアプリケーションの実行時には、アプリケーションビルダーによるロードと同じ処理が行われ、正しいライセンスがない場合には、使用することができません。

アプリケーションビルダーによるライセンス情報管理

アプリケーションビルダーのメニュー、[オプション] - [アプリケーションライセンス情報] から、現在登録されているアプリケーションライセンスの一覧が表示されます。



一つのライセンスについて、左からアプリケーション ID、アプリケーションデータファイル名（初回導入時）、有効期限の順で表示されます。アプリケーション ID はライセンス設定時に管理者によって入力されたものです。また、一覧表示の中で赤いアイコン / 文字で表示されるのは期限切れを示します。新たなライセンスキーを入手した場合、以下のいずれかの操作によりライセンス情報に対してキーを再入力することで、ライセンスを更新することができます。

[操作 1]

- ・リストからアプリケーションを選択
- ・[更新]ボタン押下 ライセンスキー入力画面が表示される

[操作 2]

- ・リスト上のアプリケーションをダブルクリック
ライセンスキー入力画面が表示される

なお、ライセンス更新においては、初回導入日を引き継いで有効期限を設定しますので、ライセンス更新処理後の状況は以下のようになります。

例) 初回導入が 2005/07/01 の場合

7/1 に 3 ヶ月間のライセンス登録	利用期限：2005/10/01
10/1 に 6 ヶ月間のライセンスに更新	利用期限：2006/01/01
	(2006/04/01 にはならない)

GUI

1) フレーム (PFFrame)

フレームを閉じる際に、確認メッセージを出す機能を追加しました。

2) 確認ダイアログ、メッセージダイアログ (PFConfirmDialog、PFMessageDialog)

フォントや文字色などの書式を変更できるようになりました。

不具合修正

プラットフォーム基幹

1)ライセンス管理機能

ライセンスチェック時の例外処理のうち、エラーの原因が記載された例外をラッピングしてしまっている部分があったので修正しました。

2)アプリケーション編集画面

コメントが挿入されたアプリケーションにおいてコンポーネントを移動させる場合に、移動先となるインデックスにコメントを考慮していないインデックスが返されていたので修正しました。

また、複数のコンポーネントを選択して移動させる場合に、正しい移動先インデックスを求められていなかったため修正しました。

3)帳票編集画面

帳票コンポーネントが配置されていない場合の考慮がされていない部分について、分岐処理を加えて修正しました。

GUI

1)グラフ全般

getObjectTable() / setObjectTable()メソッド実行の際、第0列の列名(項目列名)を保持するように修正しました。

印刷時にはベクトル描画になるように、各コンポーネントにフラグを導入して描画処理を分岐させました。

2)ダイアログ (PFDialog)

アプリケーション保存エラーに関連して、writeObject(ObjectOutputStream)メソッドの中で updateToolTipText()メソッドを呼び出さないように修正しました。updateToolTipText()メソッドは、show(PFWindowComponen)メソッドの中で呼ぶようにすることで例外の発生を抑えました。

コンポーネント情報

CVS 入力コンポーネントの isHeaderEnabled()メソッドの日本語を修正しました。

制限事項

アプリケーションビルダー

1)XML 入出力機能 [Since : Version 1.0]

XML 入出力機能で出力される XML ファイルの文字コードはシフト JIS コードと限定し、Linux/Unix 環境でもシフト JIS コードで出力されます。

2)矩形分割配置の分割数設定 [Since : Version 1.0]

矩形分割配置の分割数の設定は、『画面配置設定』画面では設定できません。コンポーネントの設定機能（設定可能実行モードなど）によって設定してください。

3)日本語コンポーネント一覧ファイル [Since : Version 1.0]

日本語のコンポーネント一覧ファイル（PlatformComponents_ja.ini）は、シフト JIS コードにて提供します。Linux/Unix では動作については問題ありませんが、ファイル編集時には Emacs などのマルチ文字コード対応のエディタで行うなどの対応が必要となります。なお、将来的にプラットフォーム別でのリリースの形式となった場合、この制限事項は解除されます。

表示コンポーネント

1)ウィンドウサイズ変更時のルーラー / ガイド軸表示 [Since : 表示 Version 1.0]

ウィンドウサイズを変更した時、ルーラー、ガイド軸の表示位置が正しくないことがあります。この場合、ウィンドウサイズを変更したり、ルーラーを再度表示設定したりすることにより、正しい位置に再表示されます。

2)Java3D バージョン [Since : Version 1.0]

Java 環境のバージョン移行にあわせて、Java 3D のバージョンも最新バージョン 1.3.1 移行する予定でしたが、表示図形の一部が欠落するなどの動作不正が見られますので、従来のバージョン 1.2.1_04 のままでの運用といたします。なお、Java3D 1.2.1_04 については、J2SE1.4 での動作が保証されています。

以上